

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アクティブライフ保内

(ユニット名) B棟

記入者
氏名 篠原初美

評価完了日 平成 20年 7月 6日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			立ち上げ当初からの漠然たる理念を変更し、今年3月より、地域・家族における相互のふれあいを大切にした理念を作り上げた。		
			(外部評価)		
			地域・ご家族・ホーム内における相互のふれあいを重視した理念を、職員全員で作っておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			玄関の目の届きやすい位置に掲示しており、家族やホーム内では力を入れ努力しているが、地域とのふれあいは十分にはできていない。		スタッフルームにも確認の意味で掲示したい。 地域との関わりについては今まで以上に力を入れたい。
			(外部評価)		
			理念を玄関に掲示し、スタッフ会等で繰り返し確認されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			地域の人々へは、十分には浸透していないが、ホームのパンフレットに取り入れており、運営推進会議や見学者には説明している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 挨拶や会釈程度の関係で気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいは出来ていない。		利用者と外に出る機会を増やし顔を合わす機会を増やす。スタッフは日頃から気持ちの良い挨拶を心掛けていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域のクリーン運動、祭り、避難訓練への参加は出来る限り参加できた。又、車椅子の利用者が多く参加人数にも限りがあり十分な地元の人々との交流には至っていない。		スタッフの人数確保をし、できるだけ多くの参加数に努めたい。交流の場へ出るまでの情報を収集できるように地域や活動にもっと参加していき繋がりをもちたい。
			(外部評価) 中学生の職場体験を受け入れておられる。回覧板等により地域行事の情報を得て、参加されているが、現在、利用者の重度化に伴い参加できる方が少なくなってきた。		さらに、地域の方に事業所に立ち寄っていただく機会を作る等、地域と行き来できるような機会や関係作り等も期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ホーム内の利用者への支援で精一杯なところがあり地域の高齢者までの把握は持っていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 毎年の自己評価・外部評価後、見直しする機会を持ち改善に向けて取り組んでいる。		スタッフ会などで話し合い、見直し、問題点をあげ改善に努めている。
			(外部評価) 職員個々が自己評価に取り組み、項目を職員で分担してまとめられた。職員は、日々の振り返りだけではなく、お互いの考え方等も分かり合える機会となったと話されていた。又、前回の評価結果を受けて改善計画を立て取り組まれており、介護計画作成時にご家族にご意見をうかがうことに努められた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議で紹介していただきボランティアでミニコンサートを開いて頂く機会があり利用者の方々にとっても喜んで頂けた。		会議での情報交換や交流の機会を大切にしていきサービス向上に活かしていきたい。
			(外部評価)		
			年間を通じて大枠での検討課題を決め、会議をすすめておられる。事業所の活動報告がなされている。地域の方からボランティアの紹介や避難訓練の実施をすすめていただいた。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者がほとんど市の担当者との情報交換に努めているが、市の現状として、認知症の支援には力を入れており、研修なども多く、市のGH連絡会等に参加することで問題点などの解決につなげている。		
			(外部評価)		
			市主催の介護にかかわる研修の開催も多く、職員は、積極的に出席をされている。市の担当者とEメールで相談もされており、早急にお返事をいただけるようになっている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修や勉強会には参加する機会を設けているが、実際にこの制度が必要な方が現在はいらっしゃらない。		スタッフ全員が引き続いて研修や勉強会に参加し、事業内容や制度をできるだけ把握していきたい。必要な方がいれば活用できるよう支援していきたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			勉強会や回覧などで認識はしているがスタッフ全員が十分な知識は持っていない。		虐待につながる態度や行いが無いよう普段から気を配り再度確認しあいたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な時間をかけ説明書の内容の説明は管理者から、契約時に丁寧に説明をしている。不安、疑問点などに対しては即答できるようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員の来所で聞いてもらったり、スタッフとは普段からコミュニケーションをとっている。不満、苦情などあった場合はスタッフ会や申し送りで確認し話し合い改善していくよう努めている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、ホーム新聞で利用者の日常の様子、行事などを伝えている。利用者の健康状態や変わったことがあれば、来所時や電話を使い様子を伝えるようにしている。 (外部評価) 毎月のホーム新聞にて、事業所での状況を写真を載せて報告し、ご家族に喜ばれている。ご家族の来訪時や必要に応じて電話で報告をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 来所時に家族とコミュニケーションをとり、意見や要望を聞くようにしている。その後の対策として、スタッフ会、申し送り、業務日誌などを活用しスタッフ間で改善に努めている。 (外部評価) 「職員の名前が分からない」というご家族の意見を受け、玄関に職員全員の写真と名前を掲示された。ご家族に介護計画に対する意見を直接聴くようにされ、具体的な意見をいただけるようになった。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) スタッフ会や年2回の面接時に意見、相談など聞く機会がある。		業務に支障のない時間帯など利用し管理者との意見交換がもてている。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) スタッフの人数的に厳しい日もあるが、行事や外出時にはそれなりの勤務者を確保できている。		出来る限りの勤務変更には職員として応じるよう努めている。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動は最小限に抑えられているが、利用者へのダメージが見られる時は安心できるよう声掛けしながら関わりを持っている。		利用者が信頼しているスタッフが異動になった時は、頻繁に声掛けをし、利用者のダメージを少なくする配慮に努めている。
			(外部評価) 法人内の異動や退職者により利用者にダメージを与えないよう、情報の共有や話かけでカバーするよう努力されている。		さらに、利用者個々の穏やかな暮らしを支援するためにも、職員の異動等による利用者のダメージを防ぐ配慮について、工夫を重ねていかれることが期待される。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 定期的に行われている法人内研修はスタッフが平等に参加している。研修会で得たものはスタッフ会で報告するようにしている。		必要に応じた研修はこれからの知識や技術など習得するため参加していきたい。
			(外部評価) 法人内で新人研修を行っておられる。又、毎月ニーズに沿ったテーマで研修を実施し、職員が交代で参加されている。外部研修は勤務のやりくりをしたり、休みを利用して参加され、スタッフ会にて報告し、周知されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			年に1回程度だが同業者と交流する声掛けをして頂いている。 ほとんどが法人内との交流になっている。		サービスの質の向上の為に、他の同業者との交流できる機会を設けたい。
			(外部評価)		
			市内のグループホーム連絡会が事業所ごと持ち回りで 行われており、サービス評価・記録・人材育成等、 テーマを決めて意見交換をされている。法人内のグループホームとは利用者とともに行き来されている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			全員のスタッフに対する心のケアは出来ていないが、 管理者からの声掛けなど、ちょっとした配慮でストレス軽減に近づいている。		スタッフ一人一人の様子を出来るだけ把握できるよう声掛けを続けていく。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			スタッフ全員の評価を十分に運営者までが把握できていないかも知れない。		年に2回(半年に1回)、各自で業務での目標を立て、又、前回分の反省や評価を行う機会を設けている。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			利用されるまでの相談は管理者の元に行っているが、 利用後は日々スタッフがゆっくりと関わり話を聞いている。		入居者さん1人1人と、どういう生活を送りたいか、何をしてほしいのか、じっくりと傾聴するよう努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 初期段階としては、管理者だけが関わっているが、その後の信頼関係を築く為にもスタッフが家族とのコミュニケーションをとるよう努力している。		家族を支えることが本人を支えることにつながり、家族との関わりを大事にする努力をしていきたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人や家族から相談された時は納得されるまで関わるよう心掛けている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 管理者が家族への事前連絡や家族の事前見学の時、相談する機会が持てている。 (外部評価) 管理者は、入居に際して入院先やご自宅に訪問し、お話をされている。又、ご家族が見学に来られてから入居される方も多い。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒にできる事を共に行い、その達成感を共に喜んだり、会話の中で学んだりしながら日々支えあう関係を築いている。 (外部評価) 豆腐の作り方や調理法、古い調理道具のことを教えていただくことがある。配膳の仕方についてご指摘いただいたり、野菜やお花の植え方等について、細かく教えてくださる利用者もいる。		人生の先輩として、人としての尊厳を守り、思いを尽くして、支えあう関係作りに努力していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時に家族に声掛けをするよう心掛けてはいるが全員の家族との関係が築けていない部分がある。		面会時、貴重な時間とし、利用者の近況報告を伝えながら家族との関係を築けるよう努力をしている。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人さんの経緯やスタッフ間での情報交換などで利用者や家族との関係の理解に努め、より良い関係を築けるよう支援している。		面会の少ない家族に対しては電話報告したり、家族との会話を大切にしていきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) これまでの馴染みの人が面会に来られている時も見られるが全体的にあまり継続した関係は行われていない。		馴染みの人や場所を聞き出し、外出する機会を増やし関係が途切れないよう支援していきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入所期間の浅い方には、孤立されている姿も見られ、利用者同士の関わり合いが不十分に見える。スタッフは利用者の中に入り、仲介役になれるよう努力している。		日々の生活の中からも利用者同士が一緒になって関わっていけるレクリエーションや作品作り、趣味などを提供し、支えあえる関係に努めていきたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ほとんどの利用者、家族が契約終了後は関わる機会がなくなっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者の希望や意向は日々のかかわりの中で把握するよう努めている。まずは本人にとって、どうするのが一番良いかという視点で考えている。		本人の希望は出来るだけ支援していきたい。あきらめの生活を送るのではなく笑顔で生活できるよう支援していきたい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時のサマリーを確認するとともに本人、家族からの聞き取りによりこれまでの暮らしを把握するよう努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている	(自己評価) 日々の健康状態、行動、気持ち等を記録し申し送りで周知することで現状、変化を把握している。		日々の観察、気づきより、必要に応じて話し合いをし、スタッフ会で課題、現状について皆で検討している。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) スタッフ全員で日々の情報を交換し月1回のスタッフ会で総合的に話し合い必要なケアプランを作成している。医療面での対応、アドバイスは医師や看護師よりいただいている。		本人の気持ち、家族の思い、希望をしっかりとケアプランに反映させていけたらよいと思う。本人に残っている力を保持していけるよう考えたい。
			(外部評価) ご本人、ご家族と相談しながら介護計画を作成されている。ご家族にも直接聞き取ることで、より具体的なご意見がいただけるようになった。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月のスタッフ会で、個々の状態を話し合い、評価、見直しを行っている。 問題点のある場合は関係者と話し合い、より必要なプランを作成している。		本人、家族とケアプランについて、もっと話し合うことができるよう努めたい。
			(外部評価)		
			毎月、スタッフ会で全員の計画を評価し、3ヶ月に1回見直しをされている。急激な状態変化に対しては、その都度見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			毎日個々の介護記録や運営日誌をつけ、申し送りにより細かい情報が交換され、スタッフ全員に情報が共有されるよう努めている。 それはケアの実践、ケアプランの見直しに活かされている。		記録については、ケアプランに添ったものになるよう努めたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			利用者や家族の希望する生活が送れるよう、出来る限りの支援に努めている。		
			(外部評価)		
			職員の人数のこともあり、個別の支援に難しさがあるが、毎月計画を立てて外出をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要に応じて、警察・消防の指導は受けたり相談員の訪問、学生の職場体験などの受け入れはあるが、地域資源との協働は十分とは言えない。		ボランティアや教育機関（保育所・学校）への声掛けを実践していきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のサービスの活用支援はしていない。		必要があれば可能なことは検討していきたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 包括支援センターとの交流や情報交換には、まだまだ必要である。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 主治医に、毎日利用者の様子を報告し、定期的に往診してもらっている。必要に応じて他の医療機関への受診も行っている。		異常があれば本人の状態について納得いくよう主治医より家族に説明していただける。
			(外部評価) 協力医が週1回往診に訪れるようになっている。夜間時にも対応して下さるようになっている。内科以外のご家族が通院介助をされている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医との連携をとりながら、利用者に適切な診断・治療が受けられるよう支援している。母体病院に協力・支援を受けることが出来る。		職員も認知症に関する知識を学んでいきたい。医師への的確な報告ができるよう努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 2週間に1回、看護師に訪問してもらい利用者の状態の報告・相談に対してアドバイスをもらっている。		緊急時には連絡し相談あるいは来所して対応してもらう体制ができた。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者の入院はほとんど母体病院となるため、情報交換・相談はできる体制にあり連携している。		入院中、できるだけお見舞いに行くように心がけている。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 契約時、家族と終末期のケアの方針については話し合っている。		ホームで対応できなくなれば、母体病院へ移ることがほとんどと思われるが、本人・家族の気持ちはどうなのか、日頃から聞き取りに努めたい。
			(外部評価) 入居時、重度化・看取り等の支援について、事業所のできる支援、又、状態によっては、母体病院へ入院ができることなど説明されている。又、利用者の状態に変化があった際には具体的に話し合うようにされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 医療行為ができないため、終末期に向けた支援には限界があるが、本人・家族に説明の上、母体病院に受け入れが可能である。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 事前調査に来所されれば直接情報交換をし、サマリー等でも、できるだけ本人の情報を次へ伝えるよう努めている。		十分な情報交換をし、早く落ち着けるよう努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 職員の声掛けや対応にはばらつきがあり、改善するところがあるが個人情報などには十分配慮している。</p> <p>(外部評価) ホーム新聞へ写真等を載せる場合にはご家族の了解をとり、氏名はイニシャルにされている。職員が、居室に入る際には、ご本人に許可を得ておられる。接遇や声かけなどに関しては、管理者が個人的にアドバイスされたり、年2回の面接時に、話し合われている。</p>		<p>プライバシーの確保の徹底と一人一人の声掛けや対応を見直す。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 本人の希望を聞くよう心掛けてはいるがスタッフに余裕がないときなどはスタッフのペースになってしまう時もある。</p>		<p>利用者の希望を聞き入れながら対応していく。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 車椅子の方が多いため、毎日を希望に沿っての支援が難しい事もありスタッフの都合やペースで優先してしまう時もある。</p> <p>(外部評価) 夜眠れない方には、ゆっくりテレビを見たり、話をされる等、個々のペースに合わせておられる。機能低下や意欲低下のことも踏まえて無理強いしないことを心がけておられる。</p>		<p>利用者のペースに合わせ、支援していきたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 月に1回、出張理容を利用している。。お出掛けの際にはいつも以上のおしゃれ服でお出掛けしたり身だしなみには気をつけている。		化粧・アクセサリー等、女性の方にはもっと支援してあげたい。本人が望まれるなら馴染みの美容院など外の店に行ける様に支援したい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 限られた利用者になってしまうが出来ることはスタッフと共に行っている。 (外部評価) 現在、重度化に伴い、食事の支度を手伝える利用者が少なくなってきている。食材を切ったり、お盆を拭く等できることを無理なく行えるよう支援されている。畑で獲れた小松菜やトマト、ブルーベリーが食卓に上り、水遣りや収穫をした利用者に感謝しながら食事をされている様子がうかがえた。		誕生日やイベント時などは希望などを聞いて好きな献立で提供している。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 今の利用者の中にはお酒・タバコを好まれる方はいない。水分補給の時に希望に沿って出すときがあるが体調によって変える時もある。 おやつは余裕があれば手作りおやつを作っているが一人ひとり平等に一緒のものを出している。		利用者と一緒に近くのスーパーに出向き、好みのものを選んでいただいたり、馴染みのおやつなども手作りしていきたい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 本人の訴えがある時は誘導しているが訴えない方などは間隔をみてトイレ誘導したり、座って頂き、できるだけトイレでの排泄ができるよう支援している。		出来る限りパット内での排泄を減らし、トイレ内での快適な排泄ができるよう支援していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			スタッフの人数などによっては曜日や時間帯を希望通りにできないときがあるが、ゆっくり入浴していただけるよう支援している。		できるだけ一人ひとりの希望通りに入浴して頂いて入浴を楽しめる様にしていきたい。
			(外部評価)		
			職員の体制が整っている時間帯に入浴支援されている。介護度が重度の方は、デイサービスのリフト浴を利用されている。		さらに、利用者それぞれの習慣やタイミングに合わせた支援とともに、介護度が重度の方もお風呂を楽しめるような工夫を職員で話し合われてはどうか。利用者一人ひとりがリラックスして、くつろげるような工夫を重ねていかれてほしい。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの意志を尊重しつつ声掛けにより居室や食堂のソファでゆっくり休息して頂き個人のペースに合わせるよう心掛けている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			無理なく自分で出来ることは声掛けし、スタッフと一緒にいる。歌をうたったり新聞折りをしたりビデオ鑑賞を楽しまれている。		毎朝の朝刊取りや食堂の日めくりをされている方がおられる。もっと楽しい事を増やして笑顔を増やしたい。
			(外部評価)		
			日めくりをくる方や新聞を取りに行かれたり、カーテン開閉・裏庭のお世話・洗濯物を畳む・洗濯物のしわを伸ばす等、利用者の力量や習慣等にも合わせて役割を持っておられる。高校野球や相撲の応援をされている方もある。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			お金の所持している人は殆どいなく必要な物品があれば家族の了解のもと、ホームの立て替えを利用している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			車椅子の方が多いため、なかなか全員での外出は難しい。 天気の良い日や職員の人数が多い日などは買い物に行ったり散歩など心掛けている。		ホームだけの生活にならないように支援していきたい。
			(外部評価)		
			月1回、外出の機会を設けておられる。散歩や買い物に行かれる方もいるが、利用者個々の希望に沿った外出は、身体状況のこともあり、難しさもある。		管理者は、ふるさと訪問等、利用者が行ってみたいところに出かけるような取り組みも検討したいと話しておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			全員での外出は行っているが家族とともに出掛ける機会がもてていない。		利用者からの希望の声があれば計画を立てて機会を作りたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			食堂に公衆電話を設置しているので、いつでも自由に使用できるようになっている。離れている家族から手紙が届いたりしている利用者もいる。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問や面会に来られた方々には居室で一緒に過ごして頂いたりお茶を出したりしている。		利用者に関係する人々の訪問時は、お迎えとお見送りは必ず行っている。短時間でもコミュニケーションを築きたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会にも参加し、身体拘束をしないケアに取り組みながら見守りを重視している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中、自由に開閉が出来るようにしている。センサー式のチャイムを設置し出入りの把握が出来るようになった。 (外部評価) 日中は施錠しないようにされており、玄関にチャイムや鈴を取り付け、出かけられる方には職員が付き添うようにされている。		外出したい利用者がいれば必ずスタッフがついて散歩している。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) スタッフ同士協力し合い、利用者の所在、様子は把握できている。		日中はスタッフが利用者の目の届く所にいる。夜間は2時間おきの見回りを行っているが状態に応じて頻繁にしている。。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) ひとりひとりの状態に応じてスタッフ間で話し合い対応している。		個々に合わせて対応、見守りを続けている。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故発生時は、事故届けに記入しその後必ず今後の対策を協議し安全確保に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 付帯施設の月1回の勉強会に参加し看護師の指示のもと事故発生時の対応を習得している。		勉強会に参加し急変や事故発生時に対応できるよう心掛けるよう努める。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の訓練に参加し避難場所の確認はできていが協力の呼びかけは十分に得られていない。 (外部評価) デイサービスと合同で昼間に、避難訓練を行っておられる。。職員の家が近いために、非常時には駆けつけることとなっている。		日頃から地域の人々との交流を深めていきたい。 運営推進会議時に地域の協力をお願いされている。今後も、さらに、いざという時に駆けつけてくださる方を増やしていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族との話し合いが十分にもてていない。		面会時の時間を大切にして、話す機会を多く取り入れるよう努めたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタル測定、朝夕の申し送りで異変があった場合、主治医に連絡、指示を受けている。		申し送りや連絡ノートなどでスタッフが周知出来るようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>薬の目的、用法、用量については理解しているが、副作用については全員が十分に把握出来ていない。</p>		<p>内服薬説明書を読んで理解するよう努める。</p>
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>水分補給時、飲み物の調整をしたり毎日のラジオ体操を行っている。</p>		<p>メニューの工夫や個々にあった運動を取り入れる。</p>
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎食後、必ず口腔ケアは行っている。介助の必要の方には、清潔を保てる様支援している。</p>		<p>義歯は定期的に洗浄剤を使用している。</p>
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>摂取量は毎日記録をしている。確保できない利用者に関してはスタッフが介助を行っている。</p>		<p>栄養のバランスを考えたメニュー作りに努める。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>食事の量は記録されており、月1回体重測定をされている。水分は摂取量が少ない場合は申し送り、気を付けて補給に努めておられる。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価)</p> <p>マニュアル通りに行っている。毎日ハイター使用での環境整備や手洗いなど日頃から予防に努めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎日用具の洗浄消毒乾燥したり 食材の賞味期限には注意している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関には季節感のある生花を置いたり入居者と一緒に行った壁画など飾ったりしている。		玄関の明るさに配慮し親しみやすい雰囲気にも努めている。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共用の場にも季節感が味わえる飾り付けをしたり台所は利用者からもスタッフからも視野に入る位置で作業できるよう配慮している。		
			(外部評価) 玄関には七夕飾りが飾られ、金魚や季節の花が飾られていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファで利用者同士が座って会話できる共用空間作りをしている。一人ひとりで過ごすのは各自の部屋に限られてしまっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れた馴染み深いものを置かれている方もいるが荷物をあまり置けず空間スペースの多い方もおられる。		家族に、使い慣れ親しんだ品物などがあれば持ってきて頂くよう声掛けしていきたい。
			(外部評価)		
			テレビや冷蔵庫等を各自持ち込まれている。ご家族の写真やご本人の作品等も飾られ、入り口には職員手作りの名札を掲げておられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			朝の環境整備には十分換気を行い、臭いや空気よどみを解消している。エアコンは外気温との差を最小限にするよう配慮している。		
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			利用者によっては十分な機能を活かした工夫がとれていない部分もあるが車椅子の異動には無理のないスペースができています。		浴室、トイレ内に不足だった手すりの設置により、安全確保と自立に近い生活が送れるようになった。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			1人ひとりがそれぞれに出来ることを無理のないよう提供している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			中庭のテラスで日向ぼっこや全員での食事・おやつを食べたり楽しい雰囲気活かせている。		水遣り、野菜の収穫も手伝って頂いている。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日頃から利用者とのコミュニケーションを図り、思いや願いをくみとり、出来る限りの支援を心掛けている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	10時の水分補給時、昼食時、15時のおやつ時の団楽の場を設けている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1人での移動が困難な方もおり、一人ひとりのペースに全員には不十分な点もあるが居室と共用スペースの行き来は自由にされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	普段から利用者の笑顔の出る時など把握し、好きな事、得意な事の提供をすることで生き生きとした表情、活気のある姿が見られている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	車椅子の方が多く、行きたいところへの十分な支援はできていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医師・看護師の訪問、毎日の利用者の健康管理状態をチェックしてドクター報告の中で利用者の医療、安全面の連携を図っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不安が見られた場合、安心して頂けるよう声掛けし、安心して生活して頂けるよう心掛けている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時、見守り時には、なるべく家族と会話できるよう利用者の近況報告をするよう心掛けている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	馴染みの人や地域の人々が訪ねてこられる事はあまりみられない。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ③あまり増えていない	部落役員さんから行事等の声をかけて頂いた時には出来る限りの参加をしている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ②職員の2/3くらいが	勤務体制、業務に支障がでる場合などスタッフのストレスもあるが話し合いなどでチームワークをとっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ②利用者の2/3くらいが	利用者の要望に出来るだけ応じられるよう、少しでも楽しく生活が出来るよう心掛けている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ②家族等の2/3くらいが	月に一度のホーム新聞で内容はおおむね理解されていると思うが、細かいサービスなど把握されていないかも知れない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・体調に特変があった場合は、いつでも24時間体制で主治医に連絡がとれ指示がもらえる。
 ・母体が病院である事から状態に応じて入院が可能で医療面においては、家族や利用者に安心して頂ける。
 ・共同スペースから直接テラスに出て、花の水やりや野菜の収穫ができ、季節感が利用者と共に味わえる。